

伝統を土台に新しい学校づくりを

3年生が卒業して2週間が経過しました。晴天に恵まれた3月6日、赤学年の生徒達は、新しい世界に向かって、長町中学校を巣立っていきました。3年生は、とても素晴らしい態度で式に参加し、立派な晴れ姿でした。主役である3年生も立派でしたが、式に花を添えてくれた2年生の合唱団の歌声は、卒業生だけでなく、保護者の皆さん、そして私たち教職員も聞き惚れました。

そして、3年生のために実施した予餞会での1、2年生のパフォーマンスがとても素晴らしく、スクリーンに映された下級生の姿を見ながら、生徒たちは感動したり、盛り上がったり、そして時に静かに見ていたり・・・、そして皆さんの姿を見ながら、大きな拍手を送っていました。その場は共有できなくても、心のこもったメッセージは、スクリーン越しにも伝わるのだなと感じ、とても嬉しく思いました。下級生は体育館にいませんでしたが、スクリーンに映される下級生の姿に拍手する3年生の姿も、とても清らかに感じました。

時間のなかで行われた合唱練習、そして各学年の準備、収録等はとても大変だったと思います。各学年のパフォーマンスの完成度はとても高く、驚きました。このコロナ禍においても、感染症に注意しながら、練習を重ね、あれだけのものができるという事に、とても心を打たれました。今後の1、2年生の皆さんの活躍が楽しみです。

すでに緑学年の生徒達は、3年生が卒業する前後から、最上級生になる自覚が高まり、様々なチャレンジが目立つようになっていきます。卒業式の合唱団は、保護者の方々、そしてボランティアの方々からもとても感激され、ある保護者の方は「あまり適切な表現ではないかもしれないけれど、お金を払ってでも聴く価値がある」と驚かされていました。合唱団だけでなく、放課後の部活動でも対外試合が自粛されている中で、しっかりと練習に打ち込む姿は素晴らしいです。そして、授業態度も前向きで、しっかり取り組んでいると思います。教室に入ると皆さんの後ろ姿が目に入ります。「大きくなったなあ」と、嬉しくもあります。

1年生は、6月の入学から変わらぬ素晴らしい授業態度ですね。とにかく各クラス、積極的に挙手して発表しようとする姿が目立ちます。素晴らしいと思います。授業に積極的に参加する生徒が多ければ多いほど、授業の質も上がり、深まります。他者の意見等を参考にしようとする雰囲気は生まれるからです。ずっと継続してほしいと思います。今年度はほとんど全体が集合することが出来ず、生徒会活動も、全校集会も出来ませんでした。大きな制約がありました。中止になってしまった事も多くありました。しかし、その中でも確実に皆さんが成長している姿に接し、これからの活躍に期待が持てます。

様々な場面で、様々な先生方が「学年を向上させよう。学校を成長させよう。」とお話しします。私もそのように呼び掛けています。しかし、学級も学年も、そして学校もよりよき方向に向上していくためには、一人一人に、個々人に「学校で頑張れそうだなあ」「自分も役に立っているなあ」「授業が分かった」「部活動で向上した」「ボランティア活動ができた」等々の気付きや小さな成功体験が必要です。それは授業で、予餞会等の特別活動で、部活動で、委員会活動で、生徒会活動で、様々な機会に長町中学校の先生方と培ってほしいと思います。すると集団が自然に向上していくと思います。

他の学校より多くの生徒がいて、時に煩わしいと感じる人間関係があったり、トラブルがあったり、知らないうちに人を傷つける行為があったり、逆に、誰かを救ったり、救われたり、新しい友

人ができたり、楽しかったり、苦しかったりする毎日だと思います。それでも「これはやってはいけない事だった。」「言ってはいけない事だった。」「これは間違いだった。」と気付いていく。これらも人間関係の中でしか培うことができません。だからこそ、人と触れ合い、時には助け合い、時には喜び合い、そして時にはトラブルが起きたりしながら、進んでいければ良いと思います。人間が成長するには長い時間が掛かります。私も間違いながら、後悔しながら、自分を責めながら、時には落ち込みながら、多くの方々と接し、学び、そして皆さんと触れあっています。(今は、なかなか生徒の皆さんとじっくりお話することができませんが。)

しかしながら、もうすでに教えられている事、知っている事、自分も経験している事、注意を受けて反省した事を、何度も繰り返す事は避けたいものです。例えばSNSでの誹謗中傷。すぐに削除したり、24時間以内に削除されたりするシステムがあったり、グループ内だけで閲覧できるシステムがあったりしますが、それですべてが消えている事はありません。一度、SNS上にアップされた情報は、消えてなくなることはない、と意識してください。知ってはいるようでも自分は大丈夫と思っているところから火がつきます。

知ってはいるものの友人の悪口を他の場所で言ってしまう。「誰にも言わないでね・・・。」と約束しあうものの、この「誰にも言わないでね。」が結構くせ者で、伝言ゲームのように「誰にも言わないでね。」という言葉だけが生き生きと動き回る。そんな経験はありませんか。

「秘密だから、誰にも言わないで」という言葉には魔力があります。これは大人もそうです。私もたまに使います。しかし、そこには様々な意味があって、「本当はみんなに知ってほしい。」という表裏一体の心理もあると思うのです。これが危険なのです。(これは私の体験ですが)

何を話したいかという、もうすでに「こんな事をすると誰かが傷つく」という事を知りながの行為は、慎みましょう。それらはきっと、小学校、そしてこれまでの人間関係で学んでいると思います。一人一人がそのような事を心掛けることによって、よりよい個人、よりよい学級、学年、そして良き長町中学校になっていくと思います。これまで同様、そしてそれ以上に、生徒全員で、そして教職員と協力して、良い雰囲気を作っていきましょう。

その一環として、生徒会と教職員が協力し、協働して、新型コロナウイルスに関する共同メッセージを作成しました。生徒会執行部の生徒達が、自分達で原稿を作成し、注意点を考えながら、そして私も原稿を作成しました。自分達が注意深く生活するために、そしてその中でも安心して生活できるようにと考え、一緒に作成しました。宮城県では、新型コロナウイルスの感染拡大が広がり、宮城県知事と仙台市長の協同記者会見が行われ、独自の緊急事態宣言が発出されました。そこで、長町中学校でも生徒会執行部の生徒達が、先生方と一緒に「学校生活で気をつけてほしい事」を放送で話しました。生徒代表は生徒会会長の鈴木颯世さん、そして学校代表として、私が鈴木会長と一緒に皆さんにお話ししました。皆さんには、生徒会のメッセージは届いているでしょうか。このメッセージを放送するにあたり、私の原稿を生徒会執行部の皆さんにチェックしていただきました。日本の中学校で校長先生の原稿を訂正してくれるのは、長町中学校の生徒会だけかもしれませんね。とても嬉しく思いました。

皆さんの考えが学校全体に少しずつ反映され、学校全体で新しい学校創りをしていく。個人が成長しながら、学校全体(生徒と教職員が一緒に)も成長していく。これが今の学校のあるべき姿なのかもしれないなあ、とこのコロナ禍の1年間で考えました。新型コロナウイルスの蔓延は、世界の価値観や生き方を変えた、と言われます。「新しい生活」「新しい世界」という言葉が生まれ、マスクでも紹介されるようになりました。「新しい世界」「新しい生活」を深く考えつつ、この災禍の中で、これまでの伝統を基盤に「新しい長町中学校」が誕生していくことを期待したいと思います。皆さんにはその力があります。自分たちの出来る事を信じ、少しずつ前に進んでください。